

厚木基地における夜間連続離着陸訓練に係る要請結果について

町田市は、神奈川県企画部次長、厚木基地周辺7市の基地対策担当課長等と共に外務省他3ヶ所に要請書を持参（他は郵送等）した結果、次のとおり回答を得ました。

1. 外務省

厚木基地周辺騒音被害の深刻さは十分理解している。昨日、外務省としても駐日米国公使に対し、できるだけ硫黄島で訓練を行なうこと、厚木基地周辺の騒音を最小限にするよう努めること、NLP直前の騒音被害が増加する傾向にあることを念頭におくこと、飛行軽減措置を遵守することなど、地元の方への配慮をするよう申し入れた。（四方日米地位協定室長）

2. 防衛施設庁

厚木基地周辺の騒音問題は強く認識しており、当庁の重要課題である。NLP通告を受け、米軍に対し、厚木基地周辺住民に配慮し、できるだけ多くのNLPを硫黄島で実施すること、厚木基地でのNLPを必要最小限にすること、22時以降の飛行は極力自粛すること、中学校の中間テストの時期であることに配慮することなどを申し入れた。（塩原調達協力室長）

3. 在日米海軍

要請内容を上司に伝える。（上治政務調整官）

4. 厚木航空施設

安全確保が訓練の最大の注意事項であるが、要請内容を真摯に受け止め、要望に沿うように努めたい。（クーパー司令官）